

川崎認定保育園からの令和2年4月認可事業への移行について

目 的

川崎市子ども・子育て支援事業計画「子どもの未来応援プラン」に基づき、川崎認定保育園から、認可保育所・小規模保育事業への移行を令和3年度にかけて計画的に実施し、認可化による安定財源の確保、更なる質の向上等を図る。

また、当該施設に在籍する児童への影響を配慮し、令和3年4月移行施設も審査対象とする。

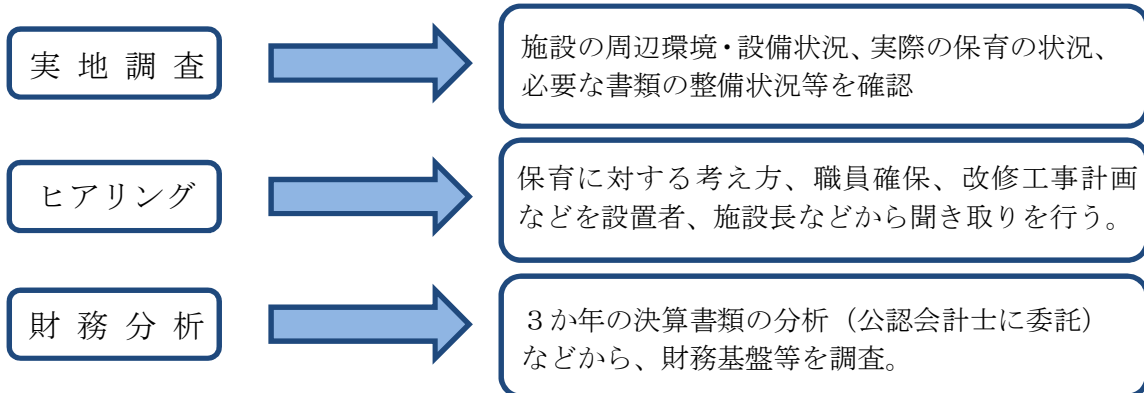
本市の認可外保育事業（本市の単独施策）の現況【平成31年4月1日】

事業類型	施設数	予算人員	主な運営内容
川崎認定保育園 (A型とB型有)	129	4,491	類型、定員に応じた運営費補助を実施するとともに、利用者に対する保育料補助も実施 ≪A型≫ 有資格者2/3以上 認可保育所に準じた設備基準 ≪B型≫ 有資格者1/2以上 認可外保育施設指導監督基準を満たした設備基準
おなかま保育室	5	170	有資格者1/3以上 2歳児まで 認可保育所に申込み保留となった児童のみ財) 川崎市保育会に委託

【認可化に向けたスケジュール】

令和元年5月31日	移行に向けた事前協議書の提出締切
令和元年5月～6月	認可事業の適性の確認調査（実地調査・ヒアリング・財務審査〈公認会計士に財務分析を委託〉等を実施）
令和元年7月～8月	調査結果を踏まえ「川崎市認定保育園等認可化移行審査委員会」の審議を経て市長が決定 ※令和2年4月移行施設も決定
令和元年8月～ 令和2年3月	児童福祉審議会への報告、移行準備（職員確保・改修工事等）
令和2年4月1日	認可

☆公募による整備と同等の視点から調査を実施



上記の調査結果を踏まえ、こども未来局管理職を中心とした委員により構成される「川崎市認定保育園等認可化移行審査委員会」において審議し、市長が決定する。

【施設改修費補助】

保育対策総合支援事業費補助金（国庫補助）の活用により、認可に際して必要な改修工事費等の一部を補助する。また、基準を満たすために移転する場合も、在籍児童の利用に支障がない場合は補助対象とする。

事業類型	上限単価	補助率	事業者負担額	市補助額
保育所	3, 200万円	3/4	800万円	2, 400万円
小規模保育事業	3, 200万円	3/4	800万円	2, 400万円

【川崎認定保育園認可化移行準備費補助金】

（目的）

保育所等（認可保育所又は小規模保育事業）への移行を希望する川崎認定保育園に対し、移行に必要な経費を補助することにより、円滑な認可化移行を実施することが目的。

（対象）

認可保育所又は小規模保育事業への移行を希望し、5年間を上限とする認可化移行計画を策定し、その計画について市長が認めた法人。

（補助対象経費）

認可化移行に必要な職員を確保するため、川崎認定保育園の配置基準を上回って雇用している職員に係る人件費等を補助対象とし、認可化移行期間内の総額で最大6, 000千円。（各計画年度の年度末に実績報告により雇用状況を確認し、雇用実績で支払う）

例1）移行期間1年間の場合の補助額 最大6,000千円/年

例2）移行期間3年間の場合の補助額 最大2,000千円/年 × 3年

参 考

平成30年度の移行状況（平成31年4月1日付け認可）

認可保育所

施設名称	移行前の類型	設置区	定員	4月在籍数
マミークラブ小杉	川崎認定保育園	中原区	90	95
ファミリア・キッズ二子新地駅前園	川崎認定保育園	高津区	50	47
保育園SCOPS宮崎台	川崎認定保育園	宮前区	30	20
すみれいろ保育園	川崎認定保育園	多摩区	60	51

小規模保育事業A型及びB型

施設名称	移行前の類型	設置区	定員	4月在籍数
保育ルームFelice武蔵中原園	川崎認定保育園	中原区	19	19
いちご保育園	川崎認定保育園	中原区	19	19
ベビーチャイルドランド梶ヶ谷園	川崎認定保育園	高津区	19	19
天才キッズクラブ上麻生園	川崎認定保育園	麻生区	19	20